

田口玄一博士一周忌追悼シンポジウム

－ 統計科学から見たタグチメソッドの現在・過去・未来 －

【開催日時】 平成25年5月13日(月)9:30～17:10

【開催場所】 筑波大学東京キャンパス134講義室

(〒112-0012 東京都文京区大塚3-29-1)

<http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/location/>

【主催】 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 統計数理研究所サービス科学研究センター、リスク解析戦略研究センター

【共催】 日本統計学会、応用統計学会、日本品質管理学会、統計関連学会連合、筑波大学ビジネスサイエンス系・大学院ビジネス科学研究科

【協賛】 日本品質管理学会テクノメトリックス研究会

【参加費】 無料

【定員】 150名

【事前申込】 事前登録がなくても参加可能ですが、人数把握のため事前登録(氏名, 所属, メールアドレス)にご協力をお願いします(連絡先: taguchi.sympto@gmail.com)

【詳細】 統計数理研究所サービス科学研究センターのホームページ
(<http://noe.ism.ac.jp/service-center/>)をご覧ください

【趣旨】

田口玄一博士が提唱したタグチメソッドは、統計科学の分野ではFisher流の実験計画法と同じく実験データの解析法として位置づけられる一方で、工業の分野においてはFisher流の実験計画法とは異なる視点で解釈されるとともに、方法論的にも独自の発展をとげ、国内外において数多くの品質改善事例を生み出してきた。不幸にも、田口博士は昨年6月2日に逝去された。ISIやASQでは田口博士の訃報が大々的に報じられ、田口博士の統計科学・品質管理への貢献があらためて高く評価される一方で、日本の統計学界では今もなお過小に評価されているように思われる。そこで、田口博士の一周忌を前にあらためてその業績をたたえ、第一線でタグチメソッドを研究・実践してきた講演者とともに、統計科学の観点からタグチメソッドのこれまでのあり方を振り返り、そして更なる発展を祈念して本シンポジウムを開催する。

【プログラム】(内容が変更となる場合がございます)

午前の部

9:30～9:35 挨拶

椿広計(統計数理研究所)

9:40～10:30 「実験計画法・タグチメソッドの活用」

立林和夫（元・富士ゼロックス）

10:40～11:30 「米国におけるタグチメソッドの変遷」

田口伸（American Supplier Institute, Inc）

午後の部1

13:00～13:50 「田口玄一先生と科学的管理法 -タグチメソッドの発想を遡る- 」

竹内恵行（大阪大学）

14:00～14:50 「累積和、2重累積和統計量の理論と応用」

広津千尋（明星大学）

午後の部2

15:05～15:55 「精密累積データのセミパラメトリックポアソンモデル」

椿広計（統計数理研究所）

16:05～16:55 「MT システムの諸問題と改良手法」

永田靖（早稲田大学）

16:55～17:10 閉会挨拶

椿広計（統計数理研究所）

【問い合わせ】 taguchi.sympo@gmail.com